

(活動報告書様式)

団体名	やまがたの自然の魅力！満喫プロジェクト		
事業名	親子ですずっと使える木のコップを作りながら、 環境保全について学ぼう！		
助成事業区分	協働助成事業（テーマ希望型） 【テーマ：山形日産 子どもから大人まで環境にやさしい社会づくり支援】		
団体の 所在市町村	山形市	事業費	645,836 円
		うち助成金額	450,000 円

■事業目的

環境保全が大切だと言いながらも、日本の林業は衰退し続けている現状にある。その理由は、杉の1本あたりの単価の低さから、林業を営む若者がほとんどいないこと。子どもたちは、森林は伐採してはいけないという固定観念を持ち、杉などの木を育てるには、間引きなどの適切な対処をしなければ、森が壊れていくことを学ぶ機会が中学1年生まででないこと。この背景をもとに、林業を専門とする若者を講師に、また、木の手作りコップを子どもたちに提供する個人事業主と協働し、親子で環境保全を学ぶ機会を提供することを目的とする。

■事業内容

11月13日(土)～14日(日)に、ヒルズサンピア山形にて、幼稚園児7名、小学生16名、大人21名の参加のもと、ファミリーキャンプ～木と未来への冒険～を実施。1日目は、木目のある板とない板を見比べて、どちらが値段が高いか、また、なぜ、値段の差が出てくるかということを考えるところからスタートしました。その後、値段の高い板は、お金のある国から買われて、日本はお金のない国から買ってきていることなどに触れ、木を切りすぎると砂漠化が進むし、切らないと生活できない国もあることを学びました。木を大切に使うことを確認した上で、「家族のゆめ実現メッセージボード」作りを行いました。制作

の後は、講師の東條先生の指導のもと、親子でアイスブレイキングをしながら、親子の触れ合いを楽しみました。夕食後のランタンファイヤーでは、やまがた基地づくりさんによる環境保全の本の読み聞かせや、歌や楽しいゲームを行った。

2日目は、外に出て、森の中で、仲間作りを中心とした活動、五感を使った感覚遊びを行いました。いろんな色の葉っぱを集めたり、いろんな大きさのドングリを拾ったり、葉っぱ掛けをしたり、子どもたちが夢中になって活動しました。その後、北欧の木のコップ「ククサ」を見ながら、大きくなったら、家族でキャンプを楽しみながら、作ってみようという話をしました。最後の感想発表では、参加者の半数以上が、前に出てきて楽しかったこと、お家の人とじっくり考えたことを発表した。

■事業の成果及び今後の展望

①事業の成果

「環境保全を考えるきっかけになった。ゴミを減らしたり、いらぬものを買わないようにしたりしたい。」

「子どもが、SDG'sについて、親よりも一生懸命考えている様子に驚いた。」

「子どもと作った、家族のゆめ実現ボードを何度も使えるように工夫してあった、なるほどと思った。」

「いつもゲームばかりしている子どもが、森の中で、元気いっぱい走り回る姿が見れて嬉しかった。」

「体育が苦手で、体を動かすことも嫌いになっていたのに、新しくできた友達とこんなに楽しく遊べるように活動をリードしてくれる講師の方々に感謝しかないです。」

普段から、環境保全を考えながら、活動を行っているメンバー同士なので、子どもたちの様子を見ながらベストな活動を提供できた。

②今後の展望

株式会社 Wonderserve さん、やまがた基地づくりさん、講師の東條さんと連携して、ファミリーキャンプ～火と木の冒険～のプログラムの中で、子どもたちでもできる作業を中心にプログラム開発を行っていきたい。すでに、来年度の活動について計画が始まっている。ゆめ実現ボードと講師によるコラボプログラムについて、継続的に開催していきたい。

